

令和 4 年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

I 本部拠点事業

(1) 法人運営事業

法人の透明性を確保するとともに、組織管理体制強化と規程の見直しを進め、適正運営に努めました。

●運営

・理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和 4 年 5 月 17 日	○富士宮市社会福祉協議会会長の選任について ○富士宮市社会福祉協議会常務理事の選任について ○令和 3 年度富士宮市社会福祉協議会事業報告の承認について ○令和 3 年度富士宮市社会福祉協議会収入支出決算について ○富士宮市社会福祉協議会評議員の推薦について ○令和 4 年度富士宮市社会福祉協議会会長表彰について ○令和 4 年度富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和 4 年 9 月 27 日	○富士宮市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ○令和 4 年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第 1 号）（案）について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和 5 年 2 月 14 日	○富士宮市社会福祉協議会職員の勤務延長に関する規程の策定について ○富士宮市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について ○令和 4 年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第 2 号）（案）について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和 5 年 3 月 14 日	○妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント、セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメントの防止に関する規定の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会理事・監事選任規程の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会給与規程の一部改正について ○富士宮市社会福祉協議会職員労働安全衛生規程の廃止並びに富士宮市社会福祉協議会衛生管理規程及び富士宮市社会福祉協議会衛生委員会規程の制定について ○令和 4 年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第 3 号）（案）について ○令和 5 年度富士宮市社会福祉協議会事業計画について ○令和 5 年度富士宮市社会福祉協議会会計予算について ○富士宮市社会福祉協議会職員の勤務延長について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

・評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和 4 年 6 月 2 日	○富士宮市社会福祉協議会理事の解任及び選任について ○令和 3 年度富士宮市社会福祉協議会事業報告の承認について ○令和 3 年度富士宮市社会福祉協議会会計決算の承認について
令和 4 年	○令和 4 年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第 1 号）の承認について

10月5日	
令和5年 2月22日	○令和4年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）（案）について
令和5年 3月22日	○令和4年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第3号）（案）について ○令和5年度富士宮市社会福祉協議会事業計画について ○令和5年度富士宮市社会福祉協議会会計予算(案)について
・評議員選任・解任委員会の開催	
開催日	主な審議内容
令和4年8月4日	評議員の選任について
・監事監査（会計と業務の執行状況）を実施しました。（令和4年5月10日）	
●人材育成への取り組み	
・内部研修(令和4年9月30日:メンタルヘルス研修、令和4年7月～1月:ファシリテーション研修、令和5年2月:災害研修)	
・テーマ別外部研修への積極的な参加	
・福祉関係資格（社会福祉士等）取得の促進（富士宮市社協資格取得支援制度利用1名）	
●会員加入の促進	
・各地区社会福祉協議会総会や日赤・社協合同大会において協力依頼を行いました。	
●行政とのパートナーシップの構築	
・各事業において、市の担当課と連携し事業推進に努めました。	
●安全運転管理	
・安全運転講習の実施：令和4年12月7日	
・全職員対象に年間を通してアルコールチェックを実施しました。	
●被災地支援	
・令和4年8月14日に発生した台風8号の影響による雲見地区の河川の氾濫による松崎町災害ボランティア本部に職員を派遣しました。【災害ボランティア本部運営支援 2名（延べ6日）】	
・令和4年9月23日から24日にかけて発生した台風15号による被災地支援のため、静岡市災害ボランティア本部（静岡市清水区）に職員を派遣しました。【災害ボランティア本部運営支援 19名（延べ35日）】	

（２）企画広報事業

●社協広報紙「明るいまち」の発行及びホームページの活用	
・社会福祉協議会で推進する諸事業や地域活動の周知を目的に広報紙を発行しました。（年4回発行）	
・4月にホームページをリニューアルし、見やすく、必要な情報にアクセスしやすくしました。また、各事業担当者が情報を更新し、最新の情報が閲覧できるようにしました。	
●日赤・社協合同大会の開催	
規模を縮小して開催しました。（区長様出席）	
開催日：令和4年6月25日(土)9:30～12:00	
会 場：富士宮市総合福祉会館	
内 容：(1)表彰・感謝状の贈呈	
(2)日赤・社協の事業説明	
(3)記念講演「安心安全な社会の構築～それぞれの生き甲斐～」	
創作防犯落語『長屋のオレオレ』（講師）落語家 にか奴亭三助 氏（渡邊晃人 氏）	
●表彰状・感謝状の贈呈	
・表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰・感謝状の贈呈を行いました。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ静岡県知事表彰等の推薦を行いました。	
・富士宮市社会福祉協議会会長表彰	38名
・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状	16名
・日本赤十字社社資功労	1名
・静岡県共同募金会感謝状	3名

●声の明るいまちの発行

・視覚障がいのある方のために、音声版「社協広報紙 明るいまち」を発行しました。

(3) 地域福祉推進事業

①地域福祉推進事業

地区社協毎の具体的な取り組みや実施時期をに示した、「富士宮市地域福祉推進計画」(第4期地域福祉計画・第4期地域福祉活動計画)に基づき、地域の方々と一体となり、課題の行動計画の作成、取り組み状況の確認と見直しを図り、各地区の事業推進に努めました。

●地域福祉推進計画キックオフ会議及び中間会議の開催

キックオフ会議開催日	中間会議開催日	地 区
令和4年5月17日	令和4年10月13日	富士根南、富士根北
令和4年5月25日	令和4年11月18日	大宮東、大宮、大宮西
令和4年6月2日	令和4年10月20日	北山・山宮、上野
令和4年6月7日	令和4年11月11日	富丘、大富士
令和4年6月10日	令和4年11月4日	猪之頭、白糸、上井出
令和4年6月17日	令和4年10月27日	芝川、柚野・稲子

●地域福祉推進計画年度末会議の開催

年度末会議開催日	地 区
令和5年2月10日	富士根北、柚野・稲子、富丘、大宮
令和5年2月22日	富士根南、大富士、大宮東、大宮西、芝川
令和5年2月24日	猪之頭、上井出、白糸、北山・山宮、上野

●地域福祉推進計画 合同会議

富士宮市地域福祉推進計画の進捗確認を行うため、富士宮市の地域福祉計画策定専門委員会と地域福祉活動計画策定・推進委員会の合同会議として開催しました。

開催日：令和5年3月16日(木) 19:00

会 場：富士宮市役所

内 容：第4期地域福祉推進計画について

②地域福祉教育事業

●福祉教育推進連絡会の開催

開催日：令和4年6月16日(木) 15:00～16:30

会 場：富士宮市総合福祉会館

内 容：(1)富士宮市社会福祉協議会と地域福祉教育

(2)福祉教育実践事例

(3)「福祉教育と学校」【講師】富士宮市教育委員会

(4)講評 福祉教育アドバイザー 若林直己氏

参加者：小学校19校 中学校12校 合計31校

●学校における福祉教育プログラムの支援

実績：10校(小学校8校、高校2校)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	2	0	1	2	0	3	10	4	1	1	2	0

・各学校で掲げる福祉教育計画を基にプログラムの提案や講師のコーディネートを行いました

・地域福祉活動やボランティア活動の紹介、地域の講師による講話と交流する機会が持てる工夫をし、地域と連携したプログラムを提供しました。(白糸の滝散策会や協同実践のプラットフォーム作り等)

・ICT、ワークシート等を活用したプログラムを実施しました。

●福祉教育に必要な備品の貸与

・車いす33台、アイマスク249枚、白杖164本、点字版185台、ボッチャ8台

●他機関との連携

- ・富士宮市主催の社会教育事業や高校生向け認知症啓発講座等へ参加しました。
- ・各学校と社会福祉協議会が企画から振り返りまで、関係をもって福祉教育を行いました。
- ・市教育委員会や福祉教育アドバイザーとの情報共有と連携を図りました。

③地区社協活動事業

●地区社協運営サポート

各地区社協が掲げた事業計画が円滑に進められるよう、役員からの相談対応や情報提供、各関係団体と連携しながら安定した運営と継続した取り組みができるよう支援しました。

●地区社協連絡会

市内14地区社協の会長・企画(推進)委員長等を対象に、市社協と各地区社協の情報共有や学習を通じて、地域福祉活動に対する理解を深める機会として開催しました。

開催日：令和5年3月8日(水) 19:00～20:30

会 場：富士宮市総合福祉会館

参加者：地区社協会長・企画(推進)委員長 28名

内 容：第4期地域福祉推進計画についての説明及び各地区社協の取り組み状況

●地区社協出前講座

地域福祉や地域課題についての理解を深めるための機会として、出前講座を開催しました。

- ・大宮地区社協 令和4年5月20日(金) (富士宮市総合福祉会館)

●地区社協活動に関する情報発信

地域福祉活動を紹介する広報紙「ささえあい通信」を発行し、各地区社協へ配布の他、ホームページや福祉会館内の専用ラックへの設置等により情報発信に努めました。

●地区社協への助成

地区社協活動が円滑に推進できるよう、助成金を交付しました。

④地域寄り合い処事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護予防、健康維持、生きがいづくり、不安や悩みの解消、孤立・孤独の防止等に取り組みながら、住民同士が気軽に立ち寄れる居場所「地域寄り合い処」を立ち上げ、お互いに助け合い、支え合うことのできる関係づくりを再構築できるよう、安定した運営と継続した取り組みができるよう支援しました。

●寄り合い処運営支援（開所数：117か所）

開催場所や時間などを含め、安定した運営や継続・発展に向けた取り組みが行えるように、相談対応や情報提供及び運営されている地域の自治会などとの環境・関係調整を行いました。

●スタッフ研修会の開催

運営に関わるスタッフを対象に、地域寄り合い処の理解や、活動内容の充実、スタッフとしての研鑽を目的に開催いたしました。

- ・[第1回目]

開催日：令和4年11月13日(日) 9:30～11:00

会 場：富士宮市総合福祉会館

対 象：代表者及びスタッフ

内 容：「会話の弾む人」になろう！

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| (1) 合いの手の入れ方、感情のリアクションの仕方 | (2) 会話の始まりは笑顔＋挨拶＋α |
| (3) 会話の内容 | (4) 会話を深堀する方法 |
| (5) 会話を楽しむコツ など | |

講 師：Coaching Academy 静岡校 校長 酒井美保氏

- ・[第2回目]

開催日：①令和5年3月7日(火)10:00～11:30【大富士、富丘、富士根北、富士根南】

会 場：富士宮市総合福祉会館

②令和5年3月9日(木)13:30～15:00【大宮、大宮西、大宮東】

駅前交流センター「きらら」

③令和5年3月14日(火)13:30～15:00【猪之頭、上井出、白糸、上野、北山・山宮】

上井出出張所（上井出区民館）

④令和5年3月15日(水)10:00～11:30【エリア:芝川・柚野・稲子】

芝川公民館くれないどる芝楽

対 象：代表者及びスタッフ

講 座：「寄り合い処に参加して健康になろう！！

～介護予防の観点からの寄り合い処の必要性及び実践～」

高齢介護支援課 藤田博美 氏

健康増進課 望月 綾 氏・宇敷里帆 氏

「情報交換会」

(1)寄り合い処の自己紹介

(2)寄り合い処の自慢できる工夫！

(3)今回の研修を踏まえた今後の目標や取り組んでいきたいことの発表

●開所支援

開設を希望する団体や個人に、情報提供や開設に向けた支援を行い、西山区・舟久保区・咲花区で寄り合い処が開所しました。

- ・趣旨、目的、役割、運営・活動方法について説明
- ・自治会への理解
- ・他の開所寄り合い処見学への同行

●その他

社協広報紙「明るいまち」、社協ホームページに寄り合い処に関する情報を掲載しました。また、「ささえあい通信」を発行し、関係団体へ寄り合い処の現状を伝え、運営の参加協力を仰ぎました。

⑤子育てサロン事業

●子育てサロンの推進（開所数：20か所）

- ・自治会や民生委員児童委員協議会会合等において子育てサロンの説明を行い、理解・子育て応援を求めました。
- ・子育てサロンの運営に関する相談に対し、アドバイスや支援に必要な関係機関と連携しました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策・対応についての通知や説明、消毒液の配布等を行いました。

●子育て支援連絡会の開催（年2回）

開催日：令和4年5月27日（金）、令和5年2月3日(金)9:30～11:00

会 場：富士宮市総合福祉会館

参加者：地域子育てサロン代表者、地域子育てサロンアドバイザー、富士宮市子ども未来課、富士宮市健康増進課、地域子育て支援関係者、主任児童委員連絡会会長

内 容：5月には顔合わせと各関係機関からの情報伝達。2月はグループワークを少人数規模で実施し、各サロン同士の交流時間が持てるよう工夫しました。

●スタッフ研修会の開催

開催日：令和4年6月22日(水)13:30～15:00

会 場：富士宮市総合福祉会館

参加者：地域子育てサロンスタッフ、地域子育てサロンアドバイザー 計29名

●地域子育てサロンアドバイザーの登録

登録者：8名(保育士有資格者、幼稚園教諭有資格者、子育て支援経験者)（前年比+2名）

●地域子育てサロンアドバイザー連絡会の開催（年2回）

開催日：令和4年4月22日(金)、令和5年1月27日(金)10:00～11:00

参加者：地域子育てサロンアドバイザー8名、富士宮市子ども未来課、富士宮市社会福祉協議会

内 容：各サロンに出向いた中での気づきや、個別ケースの情報共有、サロン運営における方向性の確

認、子育て支援連絡会の内容検討等

●市健康増進課保健師、市子ども未来課(包括支援センター子育てコンシェルジュ)と、気がかりな親子等の情報共有

・キラキラサロンへ繋がった件数 4件

●市立保育園と地域子育てサロンの情報交換会の開催

市立保育園と各サロンとの交流において、担当園・サロンだけではなく、13園の担当保育士と20サロンの代表者及びスタッフそれぞれがお互いの活動における情報交換や交流を目的に実施しました。

開催日：令和4年9月2日(金)13時30分～15時 実施

会 場：富士宮市総合福祉会館

参加者：保育士、サロン、アドバイザー、コンシェルジュ・保健師 計38名

内 容：「コロナ禍における地域子育てサロン」

講師：子育てサロンきたやま 指田淳子氏

「保護者と子どもとの接し方について」

講師：富士宮市立西保育園 向山香子氏

●地域子育てサロン紹介展示会の開催

地域子育てサロンについて幅広い世代の方たちに知っていただくことを目的に実施しました。

開催日：令和4年9月3日(土)～9月24日(土)

会 場：富士宮市総合福祉会館

●キラキラサロンの実施

富士宮市子ども未来課や富士宮市健康増進課、地域子育てサロンアドバイザー及び富士宮市社会福祉協議会が、サロン訪問時や乳幼児全戸訪問事業や日々の関わりの中で、気がかりな親子に対して、育児不安の解消や孤立の防止を目的に実施しました。

開催日：毎月第2水曜日9時30分～11時30分 計12回実施

会 場：富士宮市総合福祉会館

参加延べ人数：67名(親32名、子35名)

●孫・他孫育て講座の開催

・第1回

開催日：令和4年11月4日(金)10時00分～12時00分

会 場：富士宮市総合福祉会館

対 象：子どもや子育て支援・応援に興味・関心のある方

内 容：学ぼう！今の子育て環境～変わった事変わらないもの～

講師：富士宮市健康増進課 保健師 佐野明音氏

孫の気持ちに寄り添うあそび～玩具・絵本・わらべうた～

講師：富士宮市子ども未来課子育て世代包括支援センター子育てコンシェルジュ 望月晶子氏

説明：地域子育てサロン見学説明(説明者：富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係)

・第2回 各サロン見学

令和4年11月16日(水) 10:00～11:00 子育てサロンおっきい和 参加者3名

令和4年11月24日(木) 10:00～11:00 すくすくサロンゆずっこ 参加者2名

⑥第2層協議体推進業務

関係団体と情報共有を行い、連携・協働による支え合いの地域づくりの推進を支援しました。

●第2層協議体推進業務

自治会支部圏域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

●広報活動の実施

・社協広報紙、地域ささえあいNEWS等を活用し、協議体や生活支援コーディネーターについての理解を深めました。

●第2層協議体の運営

市内6地区の第2層協議体において、高齢者の方が日頃抱えている生活課題を各地区の状況等に合わせた協議を各協議体と共に行いました。

【令和4年度に協議を行った事例は、事例報告会の欄に記載】

- ・富士根南地区・富士根北地区協議体
協議体5回、生活支援部会5回、居場所部会6回、打合せ等19回、
出張商店街 in 来迎寺カフェ（8月、12月）への参加協力を併せて計37回実施
- ・富丘地区・大富士地区協議体
協議体5回、宮バス乗車ツアー（令和4年12月22日、令和5年1月11日、14日）、
事業説明会2回、打合せ18回など計25回実施
- ・白糸地区・上井出地区協議体
協議体6回（内1回、富士急静岡バスドライバーによる公共交通に関する説明会）、
打合せ等10回、計16回実施
- ・大宮西地区・芝川地区協議体
大宮西地区…協議体6回、打合せ等10回、計16回実施
芝川地区……協議体6回、打合せ等11回、計17回実施
- ・上野地区・北山地区協議体
協議体5回、打合せ等5回、計10回実施
- ・大宮中地区・大宮東地区協議体
協議体5回、部会5回、打合せ等5回、計15回実施

●第2層協議体委員長・副委員長会議の開催

生活支援体制整備事業の共通理解を図ると共に各地区協議体の情報交換を行うことで、それぞれの協議体運営の参考としていただくことを目的に開催しました。

開催日：令和4年4月20日、7月20日、11月17日、令和5年1月18日

●第2層協議体事例報告会の開催

開催日：令和5年3月19日（日）13:30～16:00

会 場：富士宮市総合福祉会館

対 象：第2層協議体委員、第1層協議体委員、市内14地区社協会長、推進（企画）委員長など
参加人数：80名

内 容：1年間各協議体で協議を行った事例報告会を実施。

【各協議体事例内容】

- (1) 富士根南地区、富士根北地区協議体(村山3区における生活支援試行プログラムについて)
- (2) 富丘地区、大富士地区協議体(生活支援体制整備事業説明会/公共交通の利便性向上について)
- (3) 白糸地区、上井出地区協議体(公共交通機関の利便性向上/社会福祉法人の地域貢献活動について)
- (4) 大宮西地区・芝川地区協議体

【大宮西地区】ちょこっとお助け電話帳について

【芝川地区】 地域寄り合い処へ行くために(ベンチの設置について)

※上羽鮎区・上羽鮎区においての生活支援の体制づくりについて

- (5) 上野地区・北山地区協議体(通いの場の創出について(利用しやすい通いの場があったら・・・))
- (6) 大宮中地区・大宮東地区協議体(買い物支援について/通いの場創出の検討・・・)

●生活支援コーディネーターの資質向上

- ・生活支援コーディネーターが協議体の進行等の技術向上の為、ファシリテーション研修を、富士宮市社会福祉協議会地域福祉推進アドバイザー 土屋幸己氏の指導のもと、年3回実施

(4) ボランティア活動事業

●ボランティアニーズの把握

- ・ボランティア団体（富士宮市ボランティア連絡会各加盟団体）、当事者支援団体等の会合や活動（富士宮市身体障害者福祉会学習会）へ参加

●ボランティア活動に関する相談対応、コーディネートの実施

●ボランティア活動の支援

- ・ボランティア相談 新規 13 件 R4 継続 2 件 計 15 件
- ・ボランティア依頼 新規 5 件
- ・助成金の募集情報および登録団体に関する情報発信
- ・活動の見学や体験する機会の提供と参加へのきっかけ作り
- ・社協広報紙、地元新聞等を活用した活動への参加促進
- ・市内で活動する団体や個人に対する活動支援
- ・ボランティアの安定した活動につながるよう助成金等の情報提供

●ボランティア活動保険の加入促進

- ・ボランティア活動保険加入数 98 団体（前年比±0） 総加入者数 1,743 名（前年比-85 名）

●ボランティア講座の開催

若い世代のボランティアの発掘と、学生同士の横の繋がり作りを目的に開催し、富士宮市ボランティア連絡会の協力のもと、グループワークで検討した内容の具現化を目指す内容としました。

開催日：令和 5 年 2 月 12 日（日）10 時～12 時 富士宮市総合福祉会館

テーマ：「ボランティアってなんだろう」

- ・ボランティアについて
- ・交流会、意見交換

講師：富士宮市民楽友会コールエーコン

協力：静岡県立富岳館高等学校

●災害ボランティア本部運営

災害ボランティア本部の立ち上げや運営について、県内各市町社会福祉協議会や各関係機関、団体との横の繋がり作りを行いました。

- ・災害ボランティア担当者会議
開催日：令和 4 年 5 月 30 日（月）、1 月 27 日（金）、令和 5 年 3 月 10 日（金）
主 催：静岡県社会福祉協議会
- ・市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修
開催日：令和 4 年 6 月 22 日（水）
主 催：静岡県社会福祉協議会
- ・西伊豆町社協&松崎町社協災害ボラセン合同立上げ訓練オブザーバー参加
開催日：令和 4 年 7 月 18 日（月）
- ・災害ボランティア本部災害時情報伝達訓練
開催日：令和 4 年 9 月 5 日（月）
主 催：静岡県社会福祉協議会
- ・富士宮市社会福祉協議会職員対象災害研修
開催日：令和 5 年 2 月 3 日（金）

●富士宮市青年会議所（災害時における応援協定を締結している）と共有会議

開催日：令和 5 年 2 月 4 日（土）

●家具固定事業の実施

- ・日本建築専門学校学生及び民生委員の協力も得て、6 世帯 16 家具に転倒防止のため家具固定を実施しました。
- 実施日：令和 5 年 2 月 26 日（日）

（５）子育て支援センター事業

0 歳～3 歳までの未就園児とその保護者に対し、利用者同士の交流、子育て情報の提供、子育て講座を通じての親子に寄り添う支援プログラムの提供、地域交流の実施、遊びを通して歳児に合った玩具や絵本を紹介する等、生活・育児全般の相談・助言を行いました。

また、妊娠・出産時からコロナ禍にあり、その影響による育児疲れ、孤独感を抱えた親の不安に寄り添う支援を行いました。

●子育て支援センターたち運営

営業日：火～土（9:00～10:15・10:30～11:45・13:00～15:00）※火・水の午後＝0歳児利用日

※新型コロナウイルス感染症対策として、予約制で運営

内 容：子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

子育て等に関する相談、援助の実施

地域の子育て関連情報の提供

子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

高齢者等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組（地域支援）

状 況：開所日数：242日 延利用者数：6,115名（1日平均25.2名）

電話相談：2件 面接相談：695件

●講座の開催（延利用者：146名）

4月	-	10月	栄養相談
5月	健康相談	11月	健康相談
6月	パパの子育て講座	12月	-
7月	ヨガ講座・歯科講座	1月	防災講座
8月	健康講座	2月	健康相談
9月	ヨガ講座	3月	-

●文化伝承事業

- ・ふじさんシニアクラブ富士宮

FSC 富士宮会員と利用者親子が、手遊び・紙芝居・体操・正月遊びなどを通して交流しました。

実施日：令和4年11月17日（参加者：17名）／令和5年1月20日（参加者：21名）

- ・富丘地区社会福祉協議会主催 あったか家族のつどい

利用者親子が作成したクリスマスカードをあったか家族のつどい参加者にプレゼントをしながら交流しました。

実施日：令和4年12月9日（参加者：33名）

（6）しあわせ支援事業

①応急小口資金貸付事業

生活困窮世帯に対し緊急かつ一時的に必要とする生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

貸付件数：6件（282,000円）

2件は償還開始（毎月償還：同時に面談実施）

4件は償還開始日未到達

②高額療養費貸付事業

富士宮市の国民健康保険加入者で限度額適用認定証の交付が受けられない方を対象に一時的に支払うべき医療費の負担軽減を図りました。

貸付件数：73件

貸付総額：12,149,189円

医療機関振込：12,095,263円

本人返還金：53,926円

③生活福祉資金貸付事業

低所得や障がい者の生活を経済的に支えるとともにその在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした静岡県社会福祉協議会が実施する貸付制度について富士宮市社協が窓口となり貸付を行いました。

貸付件数：12件 貸付総額：2,324,000円

●内訳

- ・緊急小口資金 9件： 886,000円
- ・教育支援資金（教育支援費・就学支度金） 3件：1,438,000円

【新型コロナウイルス特例貸付】コロナ特例貸付は令和4年9月30日で終了

- ・緊急小口資金特例貸付 申請件数 50件
- ・総合支援資金特例貸付 申請件数 42件（初回のみ）

【令和5年1月から新型コロナウイルス特例貸付償還開始】

免除申請決定：延べ363件

猶予申請決定：延べ10件

④権利擁護事業

日常生活自立支援事業、法人後見事業、成年後見制度の利用促進など、認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分である方の支援を行いました。また、市民後見人の育成など、活動実績やネットワークを生かし、市民に寄り添った権利擁護事業に努めました。

●日常生活自立支援事業の実施（日常的金銭管理・福祉サービス利用援助）

新規相談件数 5件

契約締結件数 1件

終了件数 9件（移管2件・死亡3件・本人申出1件・施設管理3件）

実利用人数 81名（認知症高齢者14名・知的障がい者24名・精神障がい者19名・その他24名）

相談援助件数 2,128件（支援回数）

●法人後見事業の充実（家庭裁判所の審判により法人として後見人等を受任）

- ・法人受任件数 後見 20件・保佐 2件・補助 1件（令和4年度受任件数：2件）
監督人 7件（令和4年度受任件数：4件）

- ・法人後見事業運営委員会の開催（事業運営の助言、新規事案の諮問・答申）
委 員：弁護士・司法書士・社会福祉士・行政職員 計6名に委員を委嘱
開催日：令和4年6月23日・10月7日・令和5年3月2日

●成年後見推進事業の充実（成年後見制度の裾野の拡大・制度を担う人材の育成）

- ①市民後見人等フォローアップ研修 3回5課程実施（参加者延べ36名）
- ②成年後見制度普及啓発講演会 令和5年3月18日（土）参加者：123名
- ③専門職勉強会の実施 令和5年2月28日（火）参加者：23名
- ④成年後見制度相談会の実施 令和5年3月18日（土）参加者：4名
- ⑤市民後見人候補者名簿登録 候補者名簿登録試験 5名合格
継続登録 7名
- ⑥市民後見人受任件数 7件

※上記③④は新規事業

⑤結婚相談事業

毎月5回結婚相談所を開設し、民生委員児童委員協議会・更生保護女性会から選出された相談員が結婚に関する相談に応じました

結婚成立件数：1組

見合い実施件数：40件

新規登録者数：57名

相談件数：850件（男性497件・女性353件）昨年度より5%増

⑥遺児・交通遺児援護事業

交通事故で親を亡くした児童、何らかの理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当を支給することで児童の健全育成を図りました。

- ・遺 児：18歳未満で、両親が何らかの理由で亡くなられた児童に学資手当を支給しました。
(学資手当対象者：高校生1名)
- ・交通遺児：18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に学資手当を支給しました。
(学資手当：小学生1名)

⑦生活困窮者自立支援事業

●自立相談支援事業

生活と就労に関する相談支援員を配置し、生活に困りごとを抱える生活困窮者に対し、どのような支援が必要かを本人と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

新規相談件数： 186 件
支援プラン決定件数： 35 件
支援プラン終結件数： 23 件
自立相談支援事業支援延べ件数：1,772 件

・就労支援

就労支援員による、一人ひとりの特性に寄り添った就労支援を行い自己肯定感を高め、新規採用、就労継続に繋がりました。

・ふじのみやフードサポート事業

地域住民や企業・団体の事業理解が深まり協力者を増やすことができ、地域のサポート力を活かした食料支援、食事提供を実施しました。

食料支援延べ件数：163件 322名分（うち幼児41名、高齢者29名）

生活困窮世帯へ食料応援

令和4年8月6日（土） 子育て世帯 20世帯（買い物イベント）

令和4年12月24日（土） 子育て世帯 20世帯（クリスマスイベント）

・制度理解を深めるための講演会

開催日：令和4年10月2日（日）

内 容：講演会「ひきこもり」を知る、そして支える～ひきこもるには理由がある～

講 師 漫才コンビ キラーコンテンツ

参加者：109名

●家計改善支援事業

相談者の家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者自ら家計管理が出来るよう家計支援プランの作成、相談支援、必要に応じて貸付けのあっせん等を行い早期生活再建に向けた支援に努めました。

家計改善支援事業支援延べ件数：194件

●両事業共通

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、安全に安心して相談できる環境づくりに努めました。

※年度途中、自立相談支援員欠員により支援件数、プラン決定件数が減となりました。

（7）共同募金配分金事業

令和4年10月1日から令和4年12月31日にかけて、赤い羽根共同募金の趣旨や使途について地域住民の理解が得られるよう広報し、募金活動を行い、寄せられた共同募金は、地域の生活課題・福祉課題の解決を図るために活用しました。

助成希望の事業を公募し、地域福祉団体へ助成することにより、活動を財政面から支援しました。また、低所得世帯支援のために援護活動を実施しました。

●赤い羽根共同募金助成事業公募

社会福祉協議会のホームページ及び地元新聞社を通じて公募しました。

●配分委員会の開催

地域住民の代表で組織する配分委員会を開催し、共同募金及び歳末たすけあい募金の適正な配分が行われる

よう、助成内容について審議しました。

第1回 令和4年5月27日(金) 会場：富士宮市総合福祉会館

第2回 令和4年11月17日(木) 会場：富士宮市総合福祉会館

●助成結果

(1) 静岡県共同募金会からの配分金【共同募金】

令和3年度共同募金・歳末たすけあい募金剰余金・令和2年度共同募金からの配分金	6,909,465 円
収入合計	6,909,465 円

配分金の使途

富士宮市社協事業(地区社協事業・結婚相談事業・移動支援事業・企画広報事業・修学旅行費助成事業・進入学祝い金贈呈事業・災害見舞金贈呈事業)	5,851,015 円
民生委員児童委員協議会、富士宮市ボランティア連絡会	495,000 円
高齢者福祉事業 (2団体2事業)	45,000 円
障害福祉活動事業(8団体13事業)	216,000 円
住民全般事業 (1団体1事業)	23,000 円
更生保護事業 (2団体2事業)	88,000 円
支出合計	6,718,015 円

収入合計 6,909,465 円—支出合計 6,718,015 円＝191,450 円

※191,450 円は静岡県共同募金会へ返還

(2) 静岡県共同募金会からの配分金【歳末たすけあい募金】

令和4年度歳末たすけあい募金からの配分金	2,949,040 円
収入合計	2,949,040 円

配分金の使途

生活困窮世帯支援活動事業(223世帯538名)	2,290,350 円
施設入所児童支援活動事業(6施設23名)	194,180 円
民生委員児童委員協議会、ふじさんシニアクラブ富士宮	400,000 円
支出合計	2,884,530 円

収入合計 2,949,040 円—支出合計 2,884,530 円＝64,510 円

※64,510 円は静岡県共同募金会へ返還令和5年度に再配分されます。

II 介護保険事業

(8) 居宅介護支援事業

要介護者の安心、安全を確保し在宅生活の維持に向けた日常生活支援とコロナ渦での切れめないサービス提供が行われるようマネジメントを行いました。

・居宅介護支援事業

コロナ渦により熱発者に対する医療の受け入れが難しく病院探しに苦慮したが、行政や医療相談員と連携して対応しました。また、急激な体調不良、機能低下により在宅生活が困難となるケースが多く、施設入所への移行など先を見据えた対応をしていく事で要介護者の健康維持、安心、安全な生活の確保に繋がりました。

・主任介護支援専門員活動

市社協が行う生活支援体制整備事業担当者や地域寄り合い処担当者との情報交換を行い、高齢者の居場所づくり、地域課題に対する意見交換、地域づくりの検討を行いました。

・支援者の体調管理

会議、訪問、モニタリングの際は感染予防対策の徹底にて実施しました。

【令和4年度延利用者数 ※()は前年度】

要支援1・2:53件(36件) 要介護1・2:214件(242件) 要介護3・4・5:117件(102件)

介護保険認定調査:8件実施(3件)

(9) 訪問介護事業

施設入所等による利用者の減少はありましたが、利用回数を増やす方も増え、訪問回数は増加しました。

【令和4年度利用者数 ※（ ）は前年度】

要支援1：5名（4名） 要支援2：6名（10名）

要介護1：12名（10名） 要介護2：4名（9名） 要介護3：2名（4名）

要介護4：1名（0名） 要介護5：0名（0名）

延べ利用数 2,587件（2,544件）

※ヘルパー定着を図る為、ヘルパーミーティングでのグループワークでコミュニケーションを深め、事例検討等でケースの共有を図りました。また、有休を取りやすく働きやすい環境作りに努めました。

Ⅲ 障害福祉事業

(10) 地域活動支援センターバンブー

●地域との交流の推進

- ・地域寄り合い処への参加を再開し、地域の方との交流を図りました。

参加寄り合い処：5カ所

芝川地区民生委員児童委員にも参加協力いただき、多くの方との交流が図れました。

利用者が製作した作品を、地域寄り合い処の参加者にプレゼントし、地域との絆を深めました。

●生産活動の推進

- ・作業提供先の協力により、作業収入の増加に繋がりました。

令和4年度作業収入：昨年度比約2.9倍

自主製品は、地域で開催するイベント用としても購入いただき、障がい者に対する理解促進と、地域とバンブーを繋ぐ役割も果たしました。

●社会適応の推進

- ・利用者の自立支援の一環としてクリスマスケーキ作りやウォーキング時のお弁当作りを行いました。

(11) 地域活動支援センターふらっと

日中の居場所としての役割を果たすと共に、日常的な相談に応じ、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

事業実施日数：244日（1日平均利用数：18.5名）

延べ利用人数：4,708名（うち富士市在住者：159名）

●居場所機能の充実

利用者からの意見、提案を受け、実施可能な範囲で企画を検討、実施しました。

- ・「お茶会」の開催

普段会話する機会の少ない利用者同士のコミュニケーションを図りました。

第1回 令和4年8月20日（土）（参加：12名）

第2回 令和4年12月17日（土）（参加：17名）クリスマス会

- ・利用者サークル（名称「ふらおり部」）

※子育て支援センターたちの親子に折り紙作品をプレゼント

- ・ゆうゆう、ふらっと合同卓球大会 令和4年8月6日（土）（参加：25名）

- ・ペタボード 毎月1回 なごみの会ボランティア

- ・絵手紙講座 毎月1回 講師：渡辺ミチ氏

- ・折り紙講座 毎月1回 講師：なごみの会 村松真由美氏

●保健・医療・福祉及び地域の社会基盤との連携

- ・広報紙の紙面内容を改良し、市内外各医療機関に配布しました。

- ・富士宮市障がい療育支援課に、利用者が製作した折り紙とともに広報誌を置いていただきました。

- ・ケア会議に参加し、各医療機関相談員や精神保健福祉士との連携を図りました。

●普及啓発活動の充実

- ・公開講座の開催 「食の大切さを学ぼう」
講 師（富士宮市健康増進課 管理栄養士 光森美里氏、正木愛奈氏）
開催日：令和5年3月16日（会場：総合福祉会館）
参加者：21名（内ふらっと利用者8名）
- ・SDGs的こころみコンテストの開催（富士市地域活動支援センターゆうゆう合同企画）
開催日：令和4年6月21日～7月9日（会場：総合福祉会館）
- ・地域活動支援センター作品展の開催
開催日：令和4年8月2日～8月27日（会場：総合福祉会館）
- ・富士宮市主催福祉作品展への出展
開催日：令和5年1月23日～1月27日（会場：富士宮市役所）

●ピア活動の推進

- ・ピアカウンセリング体験の実施
第1回 「体調管理・金銭管理」
令和4年5月19日（会場：総合福祉会館） 参加数 5名
第2回 「熱中症対策」
令和4年8月23日（会場：総合福祉会館） 参加数 5名
第3回 「来年の目標、取り組みたいこと」
令和4年11月24日（会場：総合福祉会館） 参加数 6名
- ・利用方法を検討、また利用環境を向上するため、隔月で利用者ミーティングを開催しました。
令和4年4月9日、5月14日、7月2日、9月3日、11月12日、令和5年1月14日、3月4日

（１２）指定相談事業

障がい者（児）や家族・関係機関からの相談、アセスメントにより、家族関係や困窮・就労に関する課題の整理を行いました。また、必要に応じて福祉サービスの情報提供や調整、地域の方及び病院、行政、学校等との情報共有を行い、協働しながら支援を行いました。

サービス等利用計画の作成・マネジメントを行い、新しく増えた相談支援事業所や関係機関と連携して、サービスが滞らないよう留意しながら取り組みました。また一般相談と特定相談が協力しながら支援にあたり、他事業所からの相談対応も行いました。

- ・一般相談専門支援事業
年間実利用人数 407名
内大人 240名
子ども 167名
延べ相談件数 7,262件
個別ケア会議開催件数 111件
- ・指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業
プラン作成 889件

（１３）基幹相談支援センター

地域の障がい相談支援の拠点として、以下のとおり取り組みました。

●総合的専門的相談

- ・実人員71名、延べ407件の対応を行いました。

●相談支援体制の強化

- ・計画相談部会において、月1回各相談支援専門員の情報共有の場の提供、研修企画のフォロー、各々の相談員のケース支援の見立てや支援のアドバイスに努めました。
- ・他機関との情報共有や他機関連携会議等 延べ315件

●退院時のスムーズな地域移行

- ・ P S Wネットワーク会議を年2回開催し、医療関係との連携を図りました。
- ・ 地域資源の把握に努めました。

●権利擁護・虐待防止

- ・ 関係機関との情報共有やケア会議、研修の企画や研修参加等 延べ52件

※障害における相談支援体制の充実・強化は大きな課題となっており、各々の相談員のスキルアップと共に、相談支援事業所立ち上げへの聴き取りを各関係機関に行いました。

(14) 障害者居宅介護事業

利用者の入院等により、居宅介護・移動支援の件数が減少しました。

利用者の障がい特性を理解し、ご本人に寄り添い支援を行ないました。

令和4年度利用者数※（ ）は前年度

居宅介護事業：19名（19名） 延べ利用数 1,450件（1,782件）

移動支援事業：5名（6名） 延べ利用数 159件（228件）

※ヘルパー定着を図る為、ヘルパーミーティングでのグループワークでコミュニケーションを深め、事例検討等でケースの共有を図りました。また、有休を取りやすく働きやすい環境作りに努めました。

(15) 障害者同行援護事業

2～3か月ごとの定期的な受診同行や遠方への同行依頼が増加し、4時間～8時間の長時間の支援を行ないました。

令和4年度利用者数 ※（ ）は前年度

利用者数18名（19名） 延べ利用数1,130件（1,326件）

※ヘルパー定着を図る為、ヘルパーミーティングでのグループワークでコミュニケーションを深め、事例検討等でケースの共有を図りました。また、有休を取りやすく働きやすい環境作りに努めました。

IV 総合福祉会館事業

(16) 総合福祉会館

富士宮市総合福祉会館の指定管理者として、利用される方々が安心して利用できるよう、管理・運営を行いました。福祉会館は施工から20年を経過していることから、設備等の劣化による故障や修繕に対応し改善を行いました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じました。

令和4年度延べ利用者数：58,054名（前年比：1,008名増）

開館日数： 293日

●自主事業の実施

スマートフォン講座（全4回）×2講座 延参加者30名

●設備・機器の老朽化に対する対応

設備等の保守を委託している業者による点検等で確認された修繕の必要箇所を、27件行いました。

●経費の削減

蛍光灯のLED化や昼食時の事務所照明の消灯を実施し、電力会社と電力ピーク時間調整契約を結び、電気料金の削減に努めました。さらに、委託業務契約等においては、見積合わせを行い、適正な価格で契約することで経費削減に努めました。

※令和4年度は、燃料費、光熱水費の急激な値上げや、半導体や鉄鋼などの深刻な材料不足と高騰が続き、修繕にかかるコスト増と部品の調達にかかる日数も長期化し、現在も続いている状況です。

●消防訓練の実施

地震や火災を想定し、職員が適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、自衛消防組織の意識向上を図りました。（令和4年12月21日、令和5年3月28日実施）

●会館利用促進

社協広報紙「明るいまち」に、会館の紹介記事を掲載しました。また、くつろぎの湯及びよみがえルーム

を利用する方が快適に過ごせるよう入浴施設や設備等の衛生管理体制に配慮しました。
さらに、福祉会館の見学を積極的に受け入れ、学校における福祉教育で福祉会館の説明を行い、会館利用促進に努めました。

V その他事業

●車いす貸し出し事業

介護保険の認定申請中の方、急な外出や怪我により一時的に必要な方等に対し、短期間の貸し出しを行いました。（貸出台数 183 台(前年度 163 台)）

VI 他団体事務等

①富士宮市民生委員児童委員協議会

●民生委員児童委員間の情報共有

- ・毎月第 4 木曜日に役員会を開催し、地域での課題等、情報共有を図りました。
- ・地区定例会へ、各係より担当が出席し、民児協と社協との連携強化に努めました。

●民生委員児童委員一斉改選

民生委員児童委員の一斉改選（3 年任期）に対応しました。

②日本赤十字社富士宮市地区

日本赤十字社のスローガン「人間を救うのは、人間だ」を念頭に、以下の事業を推進しました。

- ・市民の「防災」や「減災」に対する意識向上を図る
- ・静岡県支部で実施する講座の周知および開催
- ・災害発生や紛争発生時の義援金募集
- ・有功会支援
- ・奉仕団支援

③ふじさんシニアクラブ富士宮

●高齢者の健康づくり

- ・グラウンドゴルフ大会の実施（450 名参加）
- ・スポーツ祭り（輪投げ大会）の実施（460 名参加）
- ・ウォーキング事業の実施（153 名参加）

●仲間づくり

- ・女性部レクリエーションダンス（120 名参加）
- ・仲間づくり干支作り（23 名参加）

●その他、友愛活動、世代間交流

- ・88 歳（米寿）の方へのご長寿そばの振舞い友愛訪問
- ・学童クラブとの交流（カレーライスのおもてなし）
- ・子育て支援センターでの交流（紙芝居や体操）
- ・地域での奉仕作業等も実施しました。

④富士宮市ボランティア連絡会

●富士宮市ボランティア連絡会の周知

- ・十六市での富士宮市ボランティア連絡会の PR 活動及び赤い羽根共同募金活動（7 名参加）

- ・広報誌ボランティア連絡会だより第14号、第15号の発行（2回）
- ・26団体加盟（前年度より2団体増）

●役員会(偶数月)・定例会(奇数月)の開催

役員会：令和4年4月9日、6月11日、8月6日、10月8日、12月10日、令和5年2月4日

定例会：令和4年5月21日、7月9日、9月10日、11月12日、令和5年1月4日、3月11日

※令和5年3月11日は定例会&交流会を実施（参加者総数61名）

若い世代のボランティア活動者との交流を目的に、静岡県立富岳館高等学校ボランティア部(部員13名、担当教諭1名)と交流を図りました。

●学習会の開催

令和4年7月9日：我が家の防災対策講座 講師：富士宮市危機管理局 26名参加

令和4年9月10日：傾聴について 講師：明社協傾聴ボランティアハートフル 23名参加

●新規事業

①活動発表会

ボランティア連絡会加盟団体の参加により開催

開催日：令和4年7月31日(日)

会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

内 容：舞台発表と活動紹介実施

参 加：舞台発表7組、活動紹介7組、体験1組

②ふれあいウォーキング

開催日：令和4年11月18日(金)

会 場：猪之頭・陣馬の滝周辺コース

内 容：加盟団体の一つである観光ガイドボランティアの会の案内により実施

参 加：11名

●視察研修会の実施

鎌倉市ボランティア連絡協議会との交流とパネル展示の見学（25名参加）

●ふれあいトークの実施

パネル展示(令和5年1月11日(水)～1月22日(日)まで)（14団体参加）、講演会、バザーと3つの部門に分かれて実施

【講演会】

開催日：令和5年1月22日(日)10時～11時

テーマ：「地域共生社会の実現に向けた取り組み」

講 師：浄土宗紫雲山来迎寺 住 職 岩田照賢 氏

浄土宗米宮山法源寺 副住職 高瀬顕功 氏

参 加：講演会の部131名参加、パネル展示・バザーの部不特定多数

●第44回静岡県ボランティア研究集会

開催日：令和5年2月19日(日)

会 場：裾野市生涯学習センター他

内 容：基調講演「ヤングケアラーについて」及び、各分科会

参 加：富士宮市ボランティア連絡会から19名参加

※富士宮市ボランティア連絡会会長・事務局が実行委員として参加（全10回）

●他団体からの協力依頼

富士宮市社会福祉協議会生活あんしん係主催の食料応援企画、「富士宮市フードサポート事業クリスマス会」へ協力（11名参加・協力）